

横手市 地元児童が販売体験 醍醐のりんごおいしいよ



地元産りんごを販売する子どもたち

横手市の醍醐小学校 3年生 21人が 22日、同市の道の駅十文字で同市平鹿町醍醐産りんごの販売を体験した。訪れた買い物客らに向け、地元のりんごを元気にPRした。

3年生は本年度、総合的な学習の時間でりんごについて学び、摘果や枝切り、収穫などを体験したほか、調べ物も行ってきた。学習のまとめとして販売を企画した。

地元農家の協力を得て約100個を用意。子どもたちは自分たちでデザインしたキャラクターのシールを袋に貼り、レシピを紹介したチラシを配布したほか、試食も振る舞って「おいしいよ」「栄養満点だよ」などと呼びかけた。会場には、栽培の流れや品種などについてまとめた模造紙も掲示した。

りんごは約30分で完売した。呼び込みを担当した佐藤澄美怜さん(8)は「たくさん買ってもらってよかったです。醍醐のりんごが有名になってくれたらうれしい」と話した。(梅川正城)

(令和7年12月24日(水)秋田魁新聞から一部抜粋)